

(4) 授業力向上（カリキュラム）支援センター

①グループ研究

幼児保健指導グループ研究会

グループ員：大野 道子	(桜台幼稚園)	玉置 あすか	(伊丹幼稚園)
河本 梓	(稲野幼稚園)	佐古田 茜	(南幼稚園)
北川 千栄子	(天神川幼稚園)	宮口 千春	(ささはら幼稚園)
高垣 里穂	(みずほ幼稚園)	岩本 理恵子	(ありおか幼稚園)
重田 雅麻	(はなさと幼稚園)	濱西 美津子	(こやのさと幼稚園)
村瀬 聡美	(せつよう幼稚園)	坂本 圭子	(おぎの幼稚園)
榎岡 千晶	(いけじり幼稚園)	竹中 理紗	(こうのいけ幼稚園)
担当指導主事：向井 敬子			

キーワード：幼児 保健指導 教材 実演 事例研究

1 研究テーマ

「幼児にわかりやすい保健指導をするには、どのようにすればよいかを研究する」

2 研究内容

- (1) グループ員各自が行っている保健指導を持ち寄り、教材の検討や実演を見て意見交換をする。
 - ① 年間計画について
 - ② 使用している教材について
 - ③ 保健指導の実演とビデオ研修
- (2) 歯科衛生士の講話を聴き、最新の情報を得て、歯みがき指導や保護者啓発に活かす。
- (3) 事例研究（情報交換）を行い、視野を広げたり実務に活かしたりする。



3 成果と課題

- (1) 成果
 - ① 年度当初に各園の教育目標や状況、子どもの実態に応じて立てた年間計画について情報交換し比較することで、自園の取り組みを見直す機会になった。
 - ② 幼児に分かりやすい保健指導を考えると、聴覚からだけでなく視覚からも入るように、教材を工夫している。その教材は、各自が手作りするのでアイデアや工夫がみられる。他者が作った教材を見合うことで、参考にしたり作り方を教わったりできた。
 - ③ 保健指導の実演では、各自が実施した保健指導を見合い意見交換することで、言葉の選択が大切であることがわかった。幼児にもわかる言葉で興味や関心を引くような導入を考え、指導していくことが大切であることを再確認することができた。
 - ④ 地域で乳幼児健診や虫歯予防の啓発をしている歯科衛生士の講話では、歯や歯みがきに関する知識を深めることができた。また、グループ員の質問に丁寧に指導いただき、今後の歯みがき指導や保護者啓発に活かすことができるものであった。
 - ⑤ 事例研究（情報交換）では、今年度からの取り組みであるアレルギー調査について、各園のすすめ方や管理表提出の仕方などの情報を交換した。そのほか、自分の経験していない事例を知ることができ、勉強になった。

(2) 課題

- ① 幼児にわかりやすい保健指導は、視覚教材があると効果的である。今後も保健指導を実践しながら教材の活用方法について研究していく。
- ② 健康に関する知識の蓄積に励み、養護事務としての資質向上に努めていく必要がある。